

2022年4月 キューバ情勢

【概況】

1 内政

- (1) 閣僚評議会の実施（25日）
- (2) 第4回共産党中央委員会総会の開催（27－28日）
- (3) 人民権力全国議会第9立法期第5回臨時議会の招集（27日）

2 外交

- (1) 第17回キューバ・メキシコ議会間会合の開催（1－3日）
- (2) 第15回メキシコ・キューバ移民会合の開催（6日）
- (3) ロシアの人権理事会資格停止に関する国連緊急特別総会決議への反対（7日）
- (4) ロドリゲス・ベネズエラ副大統領のキューバ訪問（12日）
- (5) フラウスト・メキシコ文化大臣のキューバ訪問（20日）
- (6) 米国との移民協議の実施（21日）
- (7) スケリット・ドミニカ共和国首相のキューバ訪問（24－27日）
- (8) 米州サミットからのキューバの排除に関する外務省声明（25日）
- (9) ベリーズ首相のキューバ訪問（28日）

3 経済

- (1) 経済計画管理制度2022の承認・発効（4日）
- (2) 新たな零細中小企業の承認（20日）
- (3) 第4回共産党中央委員会総会におけるヒル副首相兼経済企画大臣の経済分析（27－28日）

4 新型コロナウイルス

- (1) 新型コロナウイルス感染状況等（※4月30日時点、保健省発表）
- (2) 新型コロナウイルス対策ワクチン接種者人口割合（※4月3日時点、保健省発表）
- (3) 入国時の新型コロナウイルス検査結果及びワクチン証明提示の撤廃

【本文】

1 内政

- (1) 閣僚評議会の実施（25日）

25日、4月の閣僚評議会が実施され、2030年までの国家経済社会開発計画のための経済社会戦略の更新が行われた。また、観光分野の緩やかな回復の確認や、2022年から2026年までのキューバにおける外国投資の促進と誘致のための戦略の更新が行わ

れた。

(2) 第4回共産党中央委員会総会の開催(27-28日)

27日から28日、第4回共産党中央委員会総会が開催され、政治局の取組報告、2021年から2026年にかけての政治戦略の評価、政治・イデオロギー改革計画の分析、家族法、経済状況等についての議論が行われた。

また、新たな共産党政治局員及び中央委員会委員党が選出され、共産党政治局員として新たにラモン・エスピノサ・マルティン将軍(83歳、革命軍事次官)が選出された。共産党中央委員会委員として、リカルド・リゲル・テヘダ東部担当将軍、ロベルト・ペレス・ヒメネス共産党中央委員会組織部長、ウンベルト・カミロ・エルナンデス共産党中央委員会幹部政治部長、オスネイ・ミゲル・コリーナ・ビジャ・クララ県共産党委員会第一書記の4名が選出された。共産党中央委員会書記(Miembro del Secretariado del CCPCC)として、ジュディ・メルセデス・ロドリゲス・エルナンデス共産党中央委員会事業部長(jefa del Departamento de Atencion a los Servicios del CCPCC)が選出された。

(3) 人民権力全国議会第9立法期第5回臨時議会の招集(27日)

5月14日午前9時より、人民権力全国議会第9立法期第5回臨時議会が招集されると発表された。

2 外交

(1) 第17回キューバ・メキシコ議会間会合の開催(1-3日)

1日、第17回キューバ・メキシコ議会間会合が開催された。3日にはメキシコ議会代表团によるディアスカネル大統領表敬が行われた。

(2) 第15回メキシコ・キューバ移民会合の開催(6日)

6日、メキシコ外務省において、第15回メキシコ・キューバ移民会合が開催され、レジェス・メキシコ外務次官とコシーオ・キューバ外務次官の間で、両国間の移民に関する協力を確認した。

(3) ロシアの人権理事会資格停止に関する国連緊急特別総会決議への反対(7日)

7日、ロシアの人権理事会資格停止に関する国連緊急特別総会決議について、キューバは反対票を投じた。理事国の資格停止はウクライナにおける平和と永続的な紛争の解決に資するものではないと主張し、一部の国によって恣意的に資格停止が行われることに懸念を示した。

(4) ロドリゲス・ベネズエラ副大統領のキューバ訪問(12日)

12日、ディアスカネル大統領はキューバ訪問中のロドリゲス・ベネズエラ副大統領と会談を行った。ベネズエラのキューバに対する支援に感謝を表明し、地域情勢等について意見交換を行った。

(5) フラウスト・メキシコ文化大臣のキューバ訪問(20日)

20日、ディアスカネル大統領は、ハバナで行われている国際図書展の開催式出席のため、特別招待国としてキューバを訪問中のフラウスト・メキシコ文化大臣と会談を行った。

(6) 米国との移民協議の実施(21日)

21日、ワシントンにてキューバと米国は移民協議を行い、コシーオ・キューバ外務次官及びメンドララ米国国務省副次官補(西半球問題担当)がそれぞれ議長を務めた。二国間移民協定及び定期的で安全かつ秩序ある移住を保証する相互の約束の遵守が確認された。

(7) スケリット・ドミニカ共和国首相のキューバ訪問(24-27日)

24-27日、スケリット・ドミニカ共和国首相はキューバを訪問し、26日にディアスカネル大統領と会談を行い、25日にハバナで行われたビオ・ハバナ2022に参加した。

(8) 米州サミットからのキューバの排除に関する外務省声明(25日)

25日、ロドリゲス外相は、米国政府が6月8日から10日にロサンゼルスで開催予定の第9回米州首脳会議(米州サミット)の準備会合について、キューバの除外を米国が決定したことを非難した。

(9) ブリセーニョ・ベリーズ首相のキューバ訪問(28日)

28日、ディアスカネル大統領は、キューバを訪問中のブリセーニョ・ベリーズ首相と会談を行った。キューバの科学技術環境省とベリーズの持続可能な開発・気候変動・災害リスク管理省との間で覚書が署名され、キューバとベリーズの保健省の間で協力協定が結ばれた。

3 経済

(1) 2022年経済計画の承認・発効(4日)

4日、2022年経済計画が官報に掲載され、経済運営のための計画と評価方法に関して発表された。短期的な経済課題を示し、中長期的な国の発展を促進するための制度や環境の整備を引き続き行うことを定めた。

(2) 新たな中小零細企業の承認 (20日)

20日、経済企画省は新たに89件の中小零細企業の申請を認め、2021年9月以来3074件が承認された。うち2974件が自営業者、51件が国営企業、49件が協同組合となっている。

(3) 第4回共産党中央委員会総会におけるヒル副首相兼経済企画大臣の経済分析 (27-28日)

第4回共産党中央委員会総会において、ヒル副首相兼経済企画大臣より、経済社会政策方針の分析、経済社会戦略の更新、経済主体への対応制度 (Sistema de Atención a los Actores Económicos) の提案が行われた。経済を再活性化し、マクロ経済の安定化プロセスを進め、キューバ・ペソの価値を上げることが国家金融システムの中心に起き、国民の生活の質を向上するために生産物及びサービスの価格を合理化することは、キューバの経済社会戦略の重要な目的であるとした。

4 新型コロナウイルス

(1) 新型コロナウイルス感染状況等 (※4月30日23:59時点、保健省発表)

ア 感染者累計: 1, 103, 131名
イ 死亡者数: 8, 527名
ウ 退院者数: 1, 093, 707名
エ 自国帰国者数: 57名
オ 国外搬送者数: 2名
カ 入院中: 3, 001名 (うち、危篤3名、重篤9名)

(2) 新型コロナウイルス対策ワクチン接種者人口割合 (※5月9日時点、保健省発表)

緊急接種の許可が付与されているキューバ国産ワクチンの①アブダラ (3回接種型)、②ソベラナ2、ソベラナプラス (ソベラナ2を2回、ソベラナプラスを1回の3回接種型、またはワクチン未接種で感染した人はソベラナプラスのみの1回型) の合計36, 241, 075回接種が行われ、人口の89, 8%が接種完了。

ア 第1回接種終了 10, 661, 252名
イ 第2回接種終了 9, 404, 217名
ウ 第3回接種終了 9, 103, 273名
エ 接種完了人数 (3回接種終了者及び感染者でソベラナプラス接種者の合計):
9, 953, 529名
オ ブースター接種終了 7, 058, 516名

（３）入国時の新型コロナウイルス検査結果及びワクチン証明提示の撤廃

保健省は、６日からキューバ入国時の新型コロナウイルス検査結果及びワクチン接種証明の提示を撤廃すると発表した（当館注：これまでは日本からの入国者に関してはＰＣＲ検査の陰性証明書及びワクチン接種証明の提示が必要だったが一律に撤廃）。

（了）